

令和 8 年度大館市ベンチャーラボ地域おこし協力隊（プレーヤー）

オンライン質問会（7/23 実施）における質問・回答

（ 7/14～7/22 で受付けた追加質問はありませんでした。）

令和 8 年 7 月 2 7 日

大館市商工課商工係

No	質問内容	回答
1	若手チャレンジ枠での応募を検討しています。現在検討中の事業では、特産品や空き施設といった地域資源は直接使わないものを考えております。 若手チャレンジ枠において評価基準の評価方法に差があるのか、「地域資源の活用」の項目ではどのように評価されるか、また、地位資源の活用において目安があれば教えてください。	前提として、各枠における評価項目そのものに差異はありませんが、例えば、若手チャレンジ枠においては、スキル・経験よりもその意欲・熱意を評価する形を想定しております。 地域資源の活用については、必須では無いといった回答にはなりますが、地域にとってプラスとなる事業が望ましいことから、評価の基準にいらしております。 1 次審査通過後であれば、地域活性化起業人（プロデューサー）と中間面談の機会がありますので、その際に地域資源の活用への関与についてアドバイスできると考えております。
2	【No1 の回答に対する再質問】 評価基準において、「地域資源の活用」の配点が 10 点となっていますが、活用がない場合には 0 点となり、事実上他の審査項目のみで評価される認識でよろしいでしょうか。	地域資源の捉え方も複数あり、特産品等の開発であれば明確かとは思いますが、それだけでなく、例えば地域に居住の方の雇用をもって地域資源の活用として見なせるという考え方もあろうかと存じます。 先の答えと重複しますが、1 次審査通過後であれば、事業内容に合わせ、中間面談でアドバイス差し上げたいと思います。
3	高齢者を対象としたジムを開業したいと考えております。 開業準備の段階で大館市の現状等の確認も含め、健康教室のような事業を提案したいと考えており、市で行っている介護予防事業などの既存事業を活用させていただきながら、地域の健康支援を行っていくといった活動は可能でしょうか。 また、地域おこし協力隊ならではの、起業後そういった事業を受託しやすくなるといった展開はありますか。	高齢者のヘルスケアの部門については、市健康課や長寿課で各教室や支援等を行っています。 実際には、任用後に担当課へ協議する形となりますが、地域おこし協力隊という立場において、市が実施している事業へは参画しやすいものと考えております。 ただし、現時点において各教室や支援等への参加をお約束するものではありません。 また、起業後においても可能な限りサポートしていきたいと考えていますが、市からの委託事業受託を確約するものではありませんので、ご注意ください。

4	地域おこし協力隊として活動するにあたり、地域住民と信頼関係を築くのに重要だと思われるポイントがあれば教えてください。	地域おこし協力隊の方には、採用後の早い段階で市広報紙や地元メディアを通じて着任を広く周知するとともに、商工団体や地域のキーパーソン等とも交流の機会を設けていく予定です。 その中で、ご自身で予定されている事業を念頭に、交流を深めていただければと考えております。 また、仕事以外でも、例えば一緒にご飯を食べたりする機会を設けながら、地域に溶け込んでいける仕組みを想定しています。 更に、大館市内に関わらず、秋田県内の地域おこし協力隊同士のコミュニティ等も存在しますので、そういった大館市内に限らないコミュニティ等もご紹介できればと考えております。
5	提案資料については、任意様式とありますが、分量等、ページ数の目安があれば教えてください。 また、事業計画の精度がどこまで求められるのか、例えば収支計画において、年単位でよいのか、月単位まで求められるのかといった目安があれば教えてください。	ページ数については特に制限等は設けていませんが、一般的に10ページ程度と考えております。ただし、こちらにとらわれず、伝えたい内容が多ければ増やしていただいても、逆にコンパクトにしたい意図があれば減らしていただいても結構です。 なお、二次審査におけるプレゼンテーション審査では、10分以内で事業提案を行っていただくことにしておりますので、ご参考としていただければと思います。 収支計画においては、年単位でよいと考えております。ただし、月単位での計画策定を妨げるものではなく、自身の事業内容と併せてご検討いただければと思います。 なお、採用となりました暁には、以後の事業計画等について話し合いを行い、月単位での予定等を計画していただければと思っております。
6	介護予防や健康づくりの分野において、どのような期待がありますか。	市民からの期待という意味合いでは、市が定期的に行っている「市民が採点する行政の通信簿」というものがあり、その中で健康福祉分野の重要度は高いものと認識しております。 また、大館市は全国的にみても高齢化が進んでいる地域ですので、ヘルスケア部門等への需要は高いものと考えております。

